

2008年5月21日

# 株式会社遠藤製作所

## 2008年3月期決算 説明資料



(ご注意)

- 1.本資料は連結ベースで作成しております。
- 2.本資料は発表済の決算内容や業績予想について説明するためのものです。
- 3.今後の業績は情勢の変化により予想と大きく異なる可能性があります。

**ENDO**

# 目次

- ◆ 2008年3月期決算の概要
  - 2008年3月期決算の概要
  - 2008年3月期決算の概要(参考資料)
  - 事業別セグメントについて(前年同期比較)
- ◆ 2009年3月期見通し
  - 業績推移
  - 設備投資計画・減価償却費
  - ゴルフ事業について
    - ～業績推移～
    - ～取組み課題～
    - ～製品別売上高推移～
  - \*参考資料:国内・海外市場動向
  - ステンレス事業について
    - ～業績推移～
    - ～取組み課題～
  - 自動車等鍛造部品事業について
    - ～業績推移～
    - ～取組み課題～

# 2008年3月期 決算の概要

**ENDO**

# 2008年3月期 決算の概要

## ◆ 決算の概況

	業績予想 (2007/5/14 発表)	業績予想との比較			比較分析
		2008/3実績	増減額	増減率	
売上高	百万円 18,619	百万円 20,188	百万円 1,569	% 8.4	・ゴルフ事業のアイアンヘッドのリピート増加 ・自動車等鍛造部品の好調による増加
営業利益	1,601	2,202	601	37.5	・製造原価低減 ・生産性の向上、効率化
経常利益	1,628	2,022	394	24.2	
当期純利益	1,240	1,373	133	10.7	税金費用の増加はあるものの当期純利益は増加

	前年実績 2007/3実績	前年同期との比較			比較分析
		2008/3実績	増減額	増減率	
売上高	百万円 14,671	百万円 20,188	百万円 5,516	% 37.6	3事業ともに増収 (ゴルフ事業37.9%増、ステンレス事業58.6%増、自動車等鍛造部品事業30.5%増)
営業利益	514	2,202	1,687	327.9	・売上高の増加 ・製造原価低減の推進が奏功
経常利益	955	2,022	1,066	111.6	
当期純利益	484	1,373	889	183.7	税金費用の増加はあるものの当期純利益は増加

# 2008/3期決算の概要(参考資料)

## 【トピックス】

- 新潟県中越沖地震の発生による影響は軽微(2007年7月17日発表)
- ステンレス事業においてベトナムに新会社設立を発表(2007年8月10日発表)
- 法人税等追徴税額の発生(2008年4月10日発表)

## 【期中平均為替レート】

期中平均為替レート	2007/3期	2008/3期	前期差異
円/Baht	3.22	3.38	0.16
円/Us\$	117.02	114.28	△2.74

※円/Bahtはタイ国内市場レート

## 【経営指標(連結ベース)】

経営指標	2007/3期	2008/3期
総資産	175億円	203億円
純資産/自己資本比率	103億円/58.9%	115億円/56.7%
1株あたり純資産	1,118.35円	1,249.48円
1株あたり当期純利益	52.49円	148.90円
自己資本利益率(ROE)	4.8%	12.6%
総資産利益率(ROA)	2.8%	7.3%
株価純資産倍率(PBR)	0.62倍	0.53倍
株価 3/末現在/4月~3月の平均	700円/1,156円	669円/804円

# 事業別セグメントについて(前年同期比較)

(単位:百万円)

	2007/3期 実績	2008/3期実績	増減額(増減率)
売上高(構成比率)	14,671(100%)	20,188(100%)	5,517( 38%)
ゴルフ事業	9,319(64%)	12,855( 64%)	3,536( 38%)
アイアン製品	5,708(39%)	6,246( 31%)	538( 10%)
ウッド製品	3,309(23%)	6,094( 30%)	2,785( 84%)
その他	301( 2%)	514( 3%)	213( 71%)
ステンレス事業	1,239( 8%)	1,966( 10%)	727( 59%)
自動車等鍛造部品事業	4,112( 28%)	5,366( 26%)	1,254( 30%)
営業利益(営業利益率)	514( 4%)	2,202( 11%)	1,688(328%)
ゴルフ事業	98( 1%)	1,242( 10%)	1,144( -%)
アイアン製品	317( 6%)	452( 7%)	135( 43%)
ウッド製品	△331(△10%)	566( 9%)	897( -%)
その他	112( 37%)	224( 44%)	112(100%)
ステンレス事業	388( 31%)	669( 34%)	281( 72%)
自動車等鍛造部品事業	570( 14%)	913( 17%)	343( 60%)
セグメント別配賦不能費用	△543	△623	△80

## <比較分析>

### ○ゴルフ事業

売上 ウッドの回復により増加

利益 製造原価低減により増益

### ○ステンレス事業

売上 ステンレス製極薄管(メタルスリーブ)の増産で

利益 製造原価低減により増益

### ○自動車等鍛造部品事業

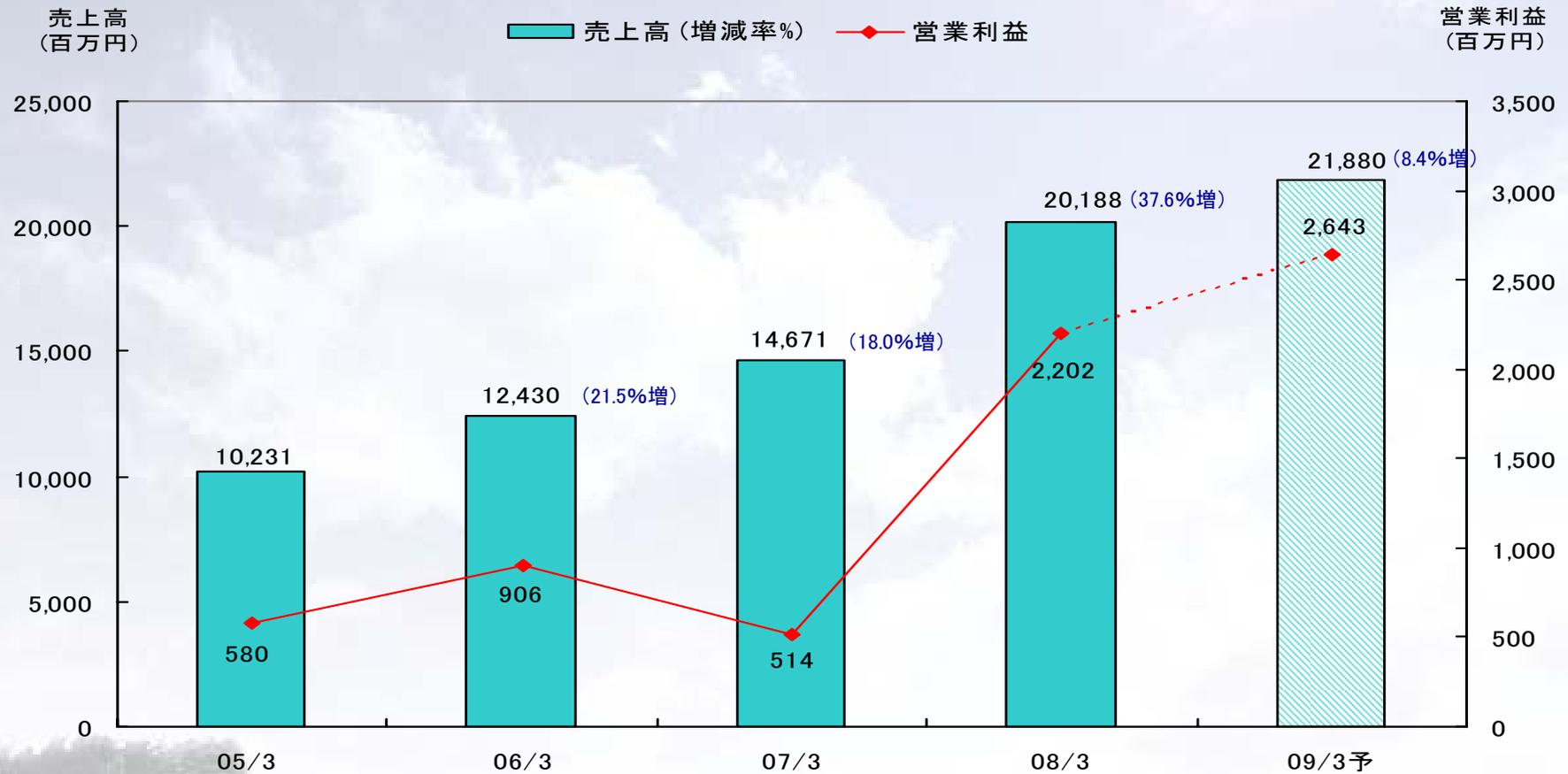
売上 自動車用部品の増産

利益 製造原価低減により増益

# 2009年3月期見通し

**ENDO**

# 2009年3月期～業績推移～



◆ 2008年3月期  
3事業ともに増収増益

◆ 2009年3月期見通し  
3事業ともに好調を維持→増産体制の確立

# 設備投資計画・減価償却費

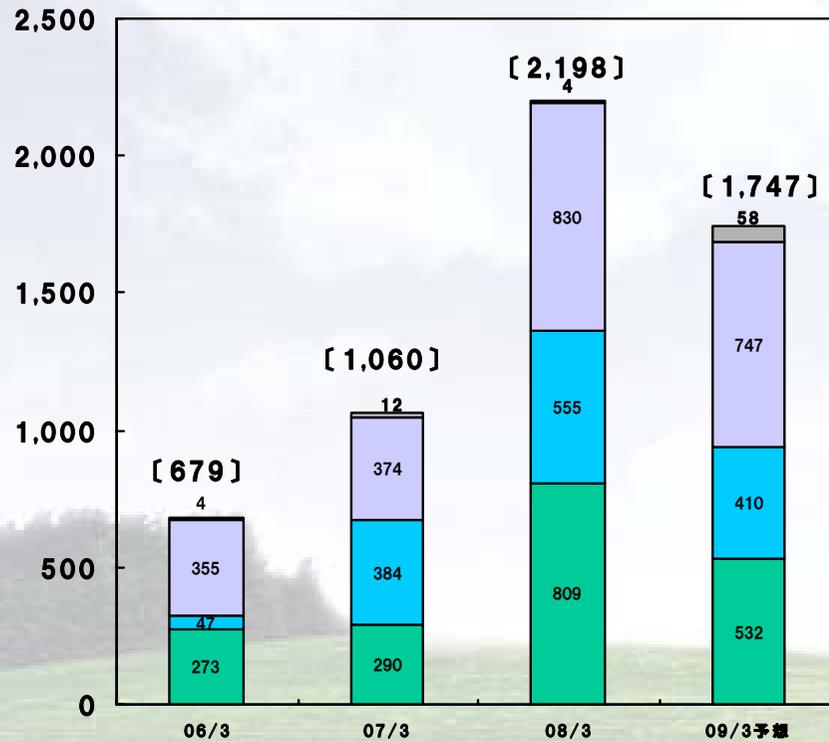
2008年度設備投資予定額

ゴルフ事業:532百万円 ステンレス事業410百万円 自動車等鍛造部品事業747百万円

⇒合計1,747百万円

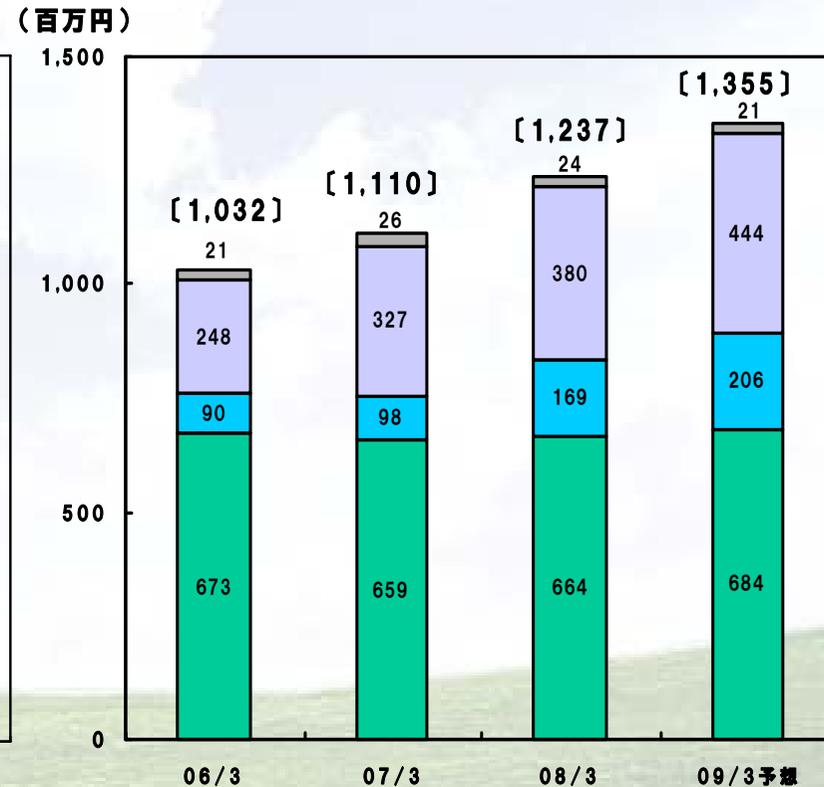
## 【設備投資額】

■ ゴルフ事業      ■ ステンレス事業  
■ 自動車等鍛造部品事業    ■ その他

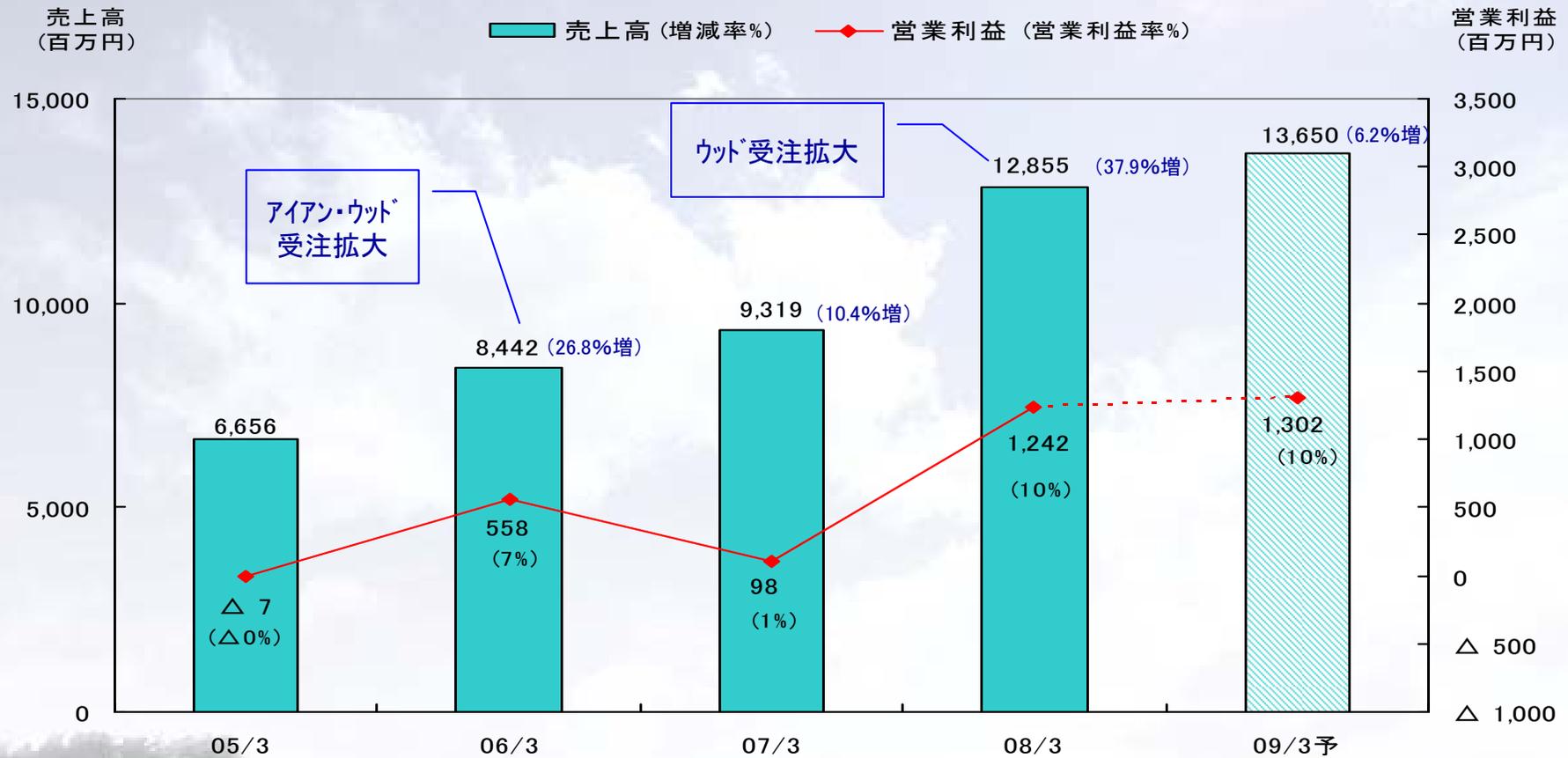


## 【減価償却費】

■ ゴルフ事業      ■ ステンレス事業  
■ 自動車等鍛造部品事業    ■ その他



# ゴルフ事業について～業績推移～



◆ 2008年3月期  
ウッ드의受注回復

◆ 2009年3月期見通し  
ウッ드의受注増、アイアンの受注確保

# ゴルフ事業について～取組み課題～

## ～営業活動～

### ・ウッド部門の受注拡大

鍛造4ピース製法が市場から高評価

⇒大型ヘッド(460cc)、重心コントロール、高慣性モーメント

### ・受注内容の改善による価格の見直し

⇒営業力の強化、開発力の強化

## ～生産活動～

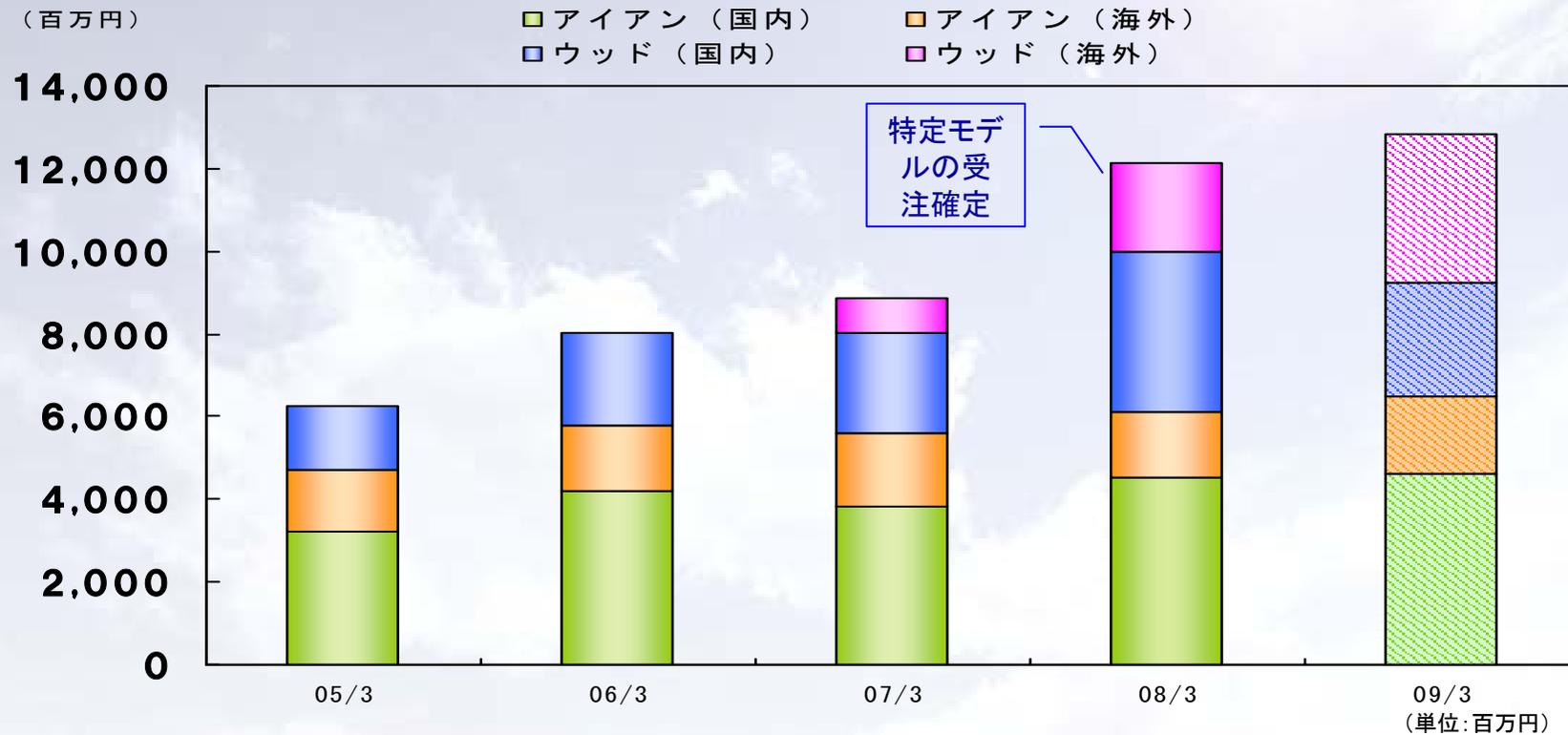
### ・管理体制強化によるコスト削減

⇒リードタイム短縮、設備投資による省力化、ウッド部門のスケールメリット

### ・ウッドクラブヘッドの増産体制の確立を図る(月産10万個を目指す)

# ゴルフ事業について～製品別売上高推移～

(百万円)



	05/3	06/3	07/3	08/3	09/3
アイアン(国内)	3,199	4,177	3,837	4,516	4,615
アイアン(海外)	1,510	1,620	1,776	1,615	1,869
[アイアン合計]	[4,710]	[5,797]	[5,614]	[6,132]	[6,485]
ウッド(国内)	1,527	2,215	2,435	3,879	2,766
ウッド(海外)	0	37	818	2,124	3,567
[ウッド合計]	[1,527]	[2,252]	[3,254]	[6,004]	[6,333]
[アイアン・ウッド合計]	[6,237]	[8,049]	[8,868]	[12,136]	[12,819]

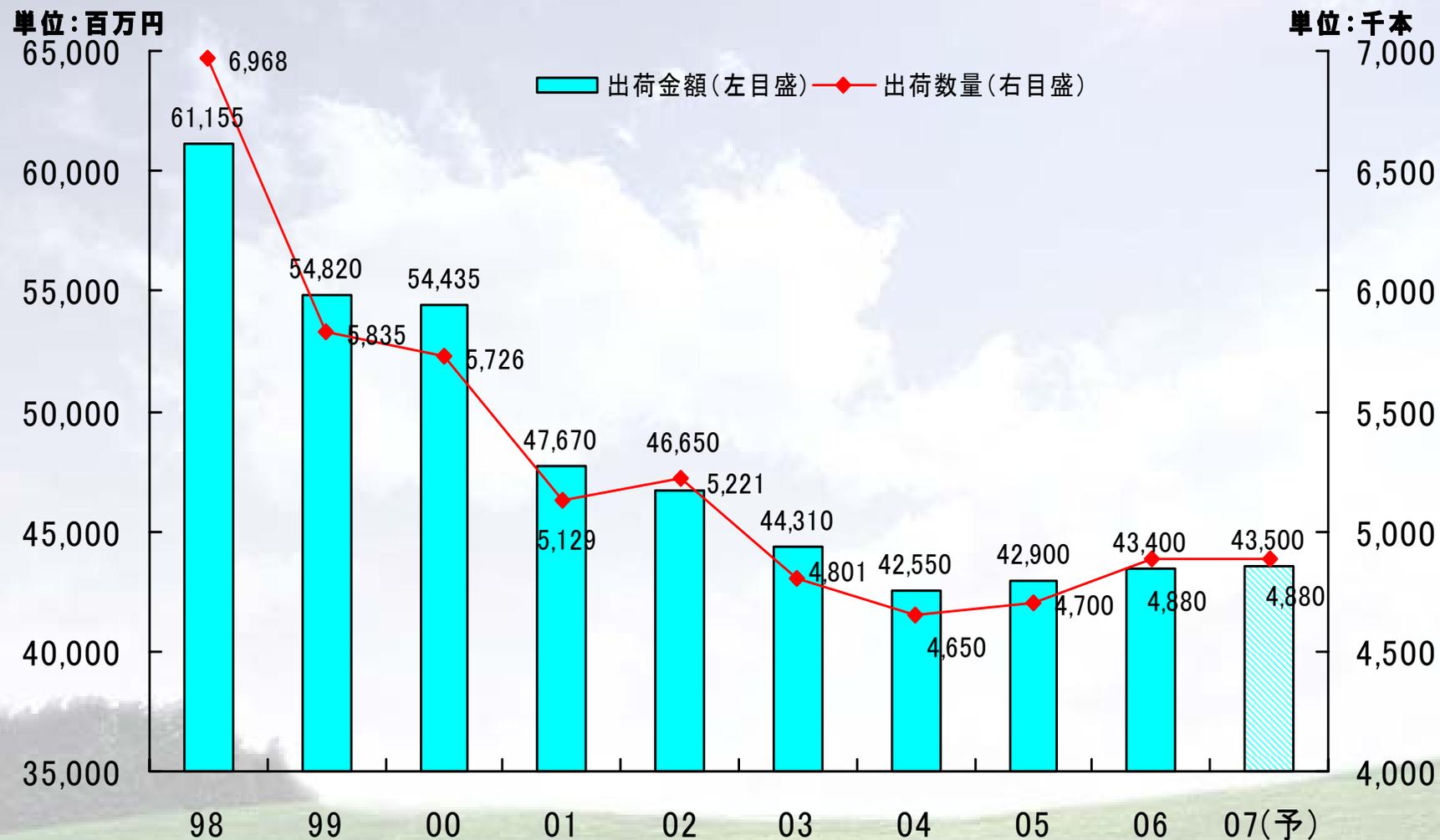
(単位: 百万円)

※上記金額には、サンプル品等のその他売上高を含んでおりません。

**ENDO**

# ゴルフ事業について

＊参考資料(国内アイアン市場 製品出荷金額・数量推移)



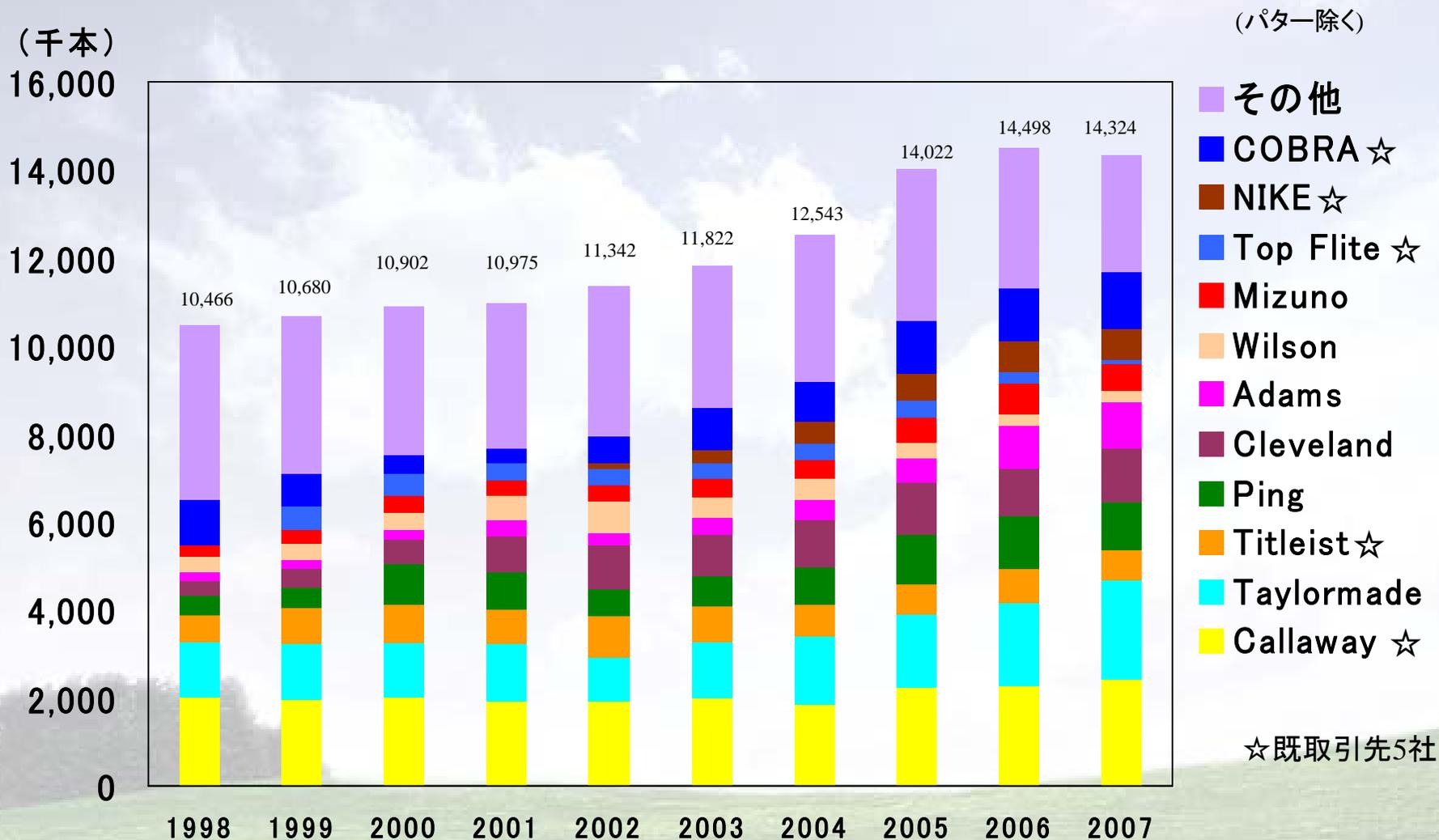
# ゴルフ事業について

## \*参考資料(国内ウッド市場 製品出荷金額・数量推移)



# ゴルフ事業について

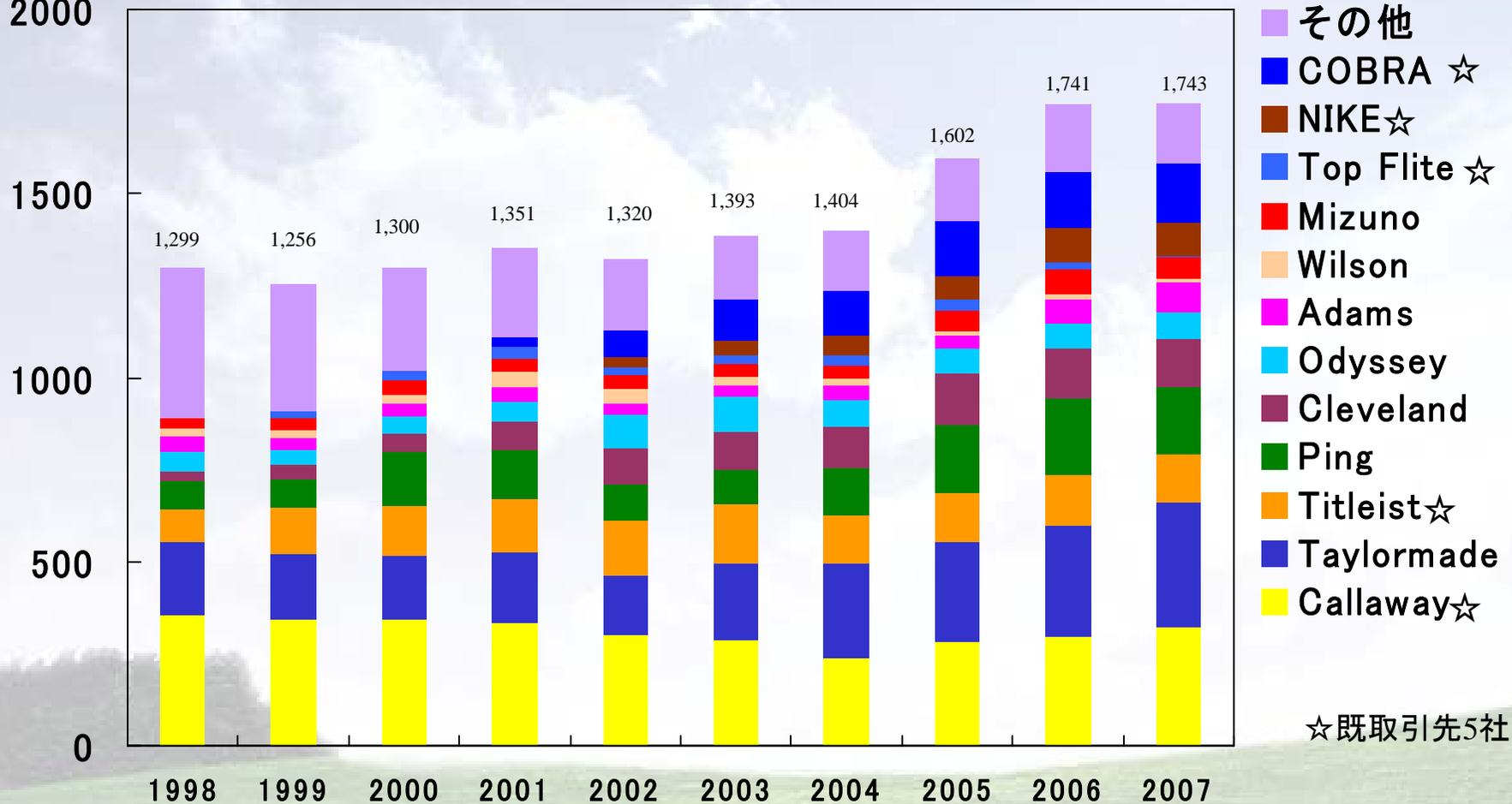
＊参考資料(“アメリカ市場”主要メーカー出荷数量推移～)



# ゴルフ事業について

＊参考資料(“アメリカ市場”主要メーカー出荷金額推移～)

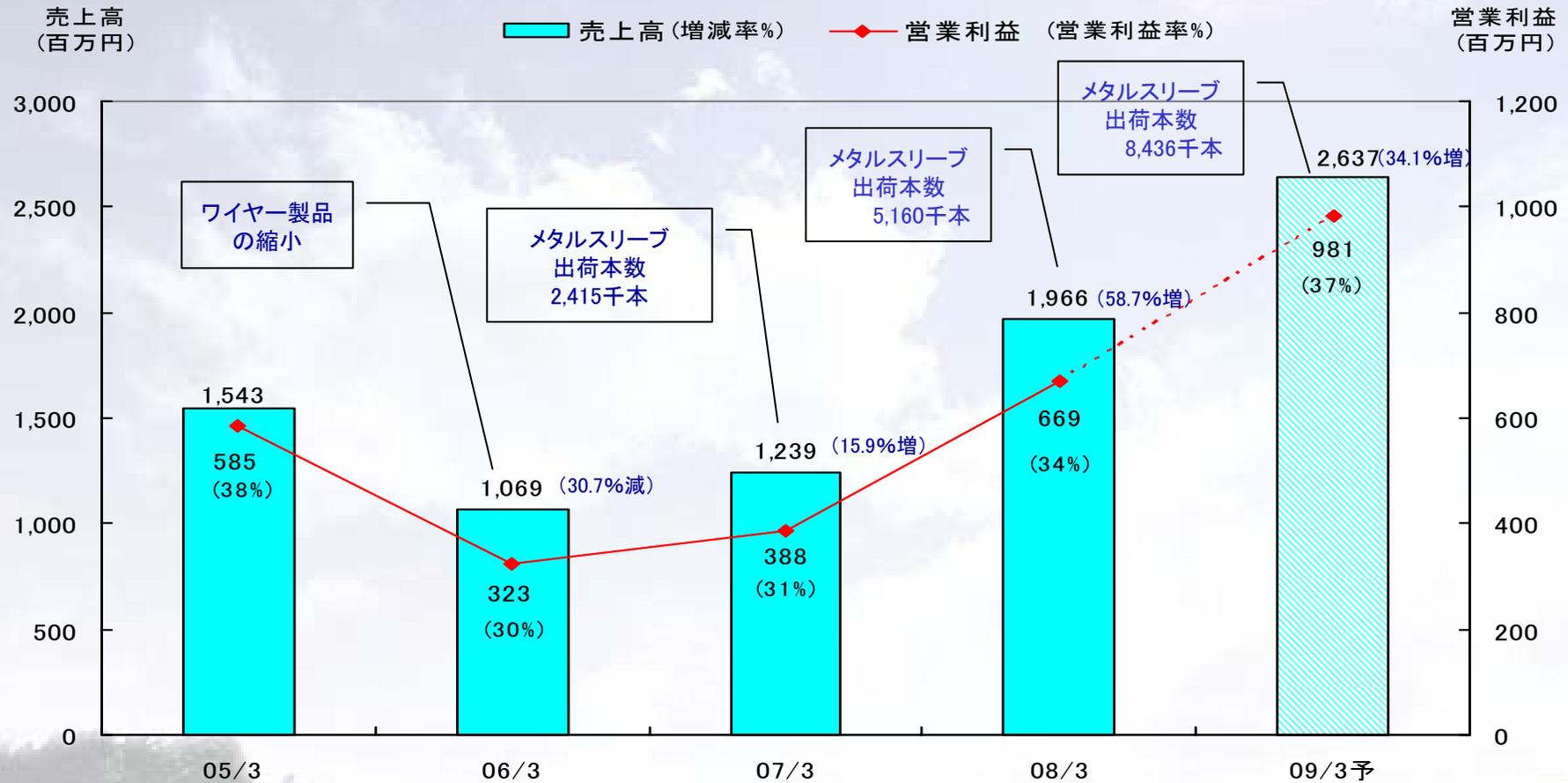
(百万ドル)  
2000



注) 当社の計数は「生産出荷高」につき記載を省略

出所: National Golf Foundation ゴルフ用品販売動向調査報告

# ステンレス事業について～業績推移～



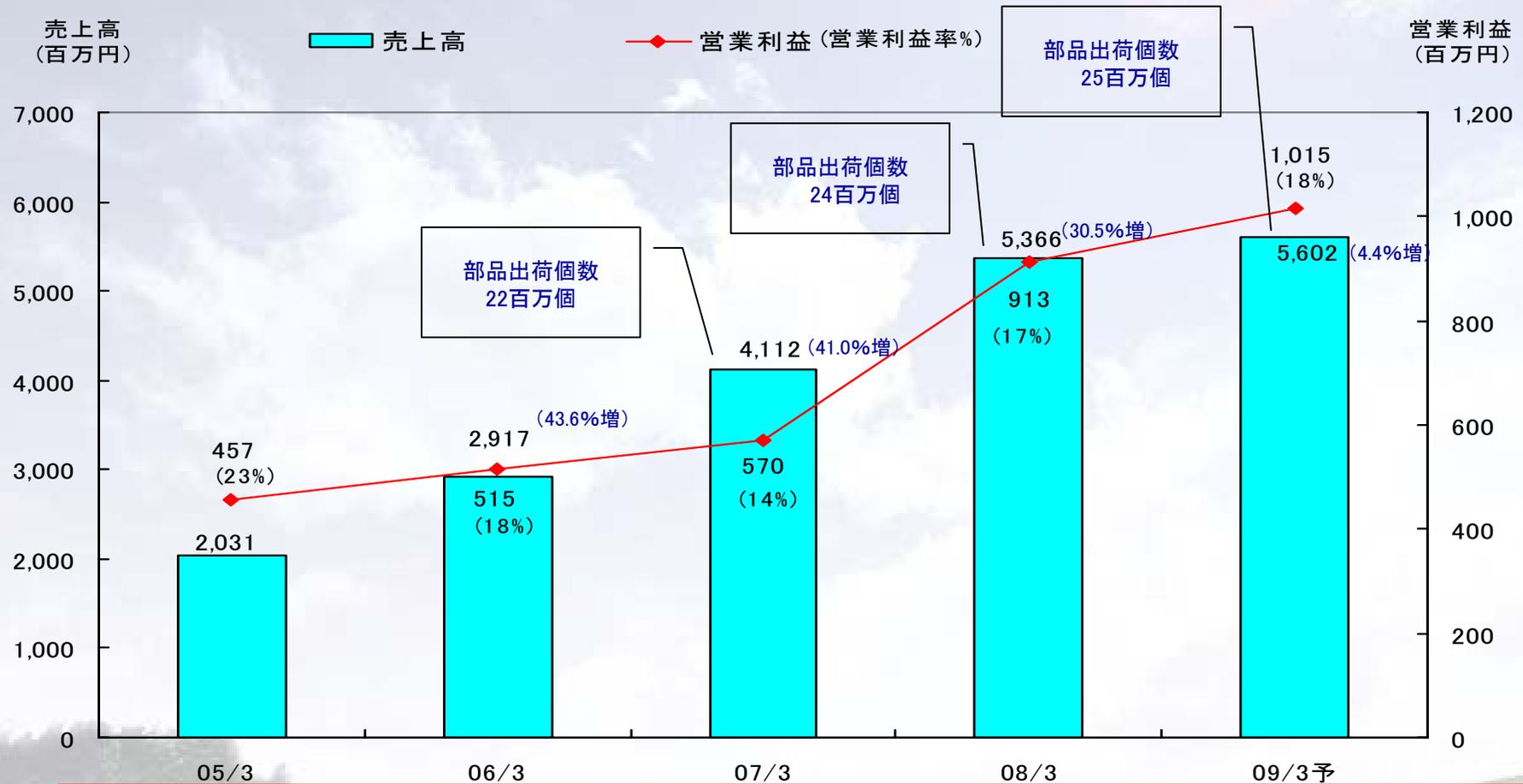
◆ 2008年3月期  
製品供給幅を広げ増収増益

◆ 2009年3月期見通し  
ベトナム工場の立上げにより増産体制を確立し増収増益を図る

# ステンレス事業について～取組み課題～

1. ステンレス製極薄管(メタルスリーブ)の増産体制の確立とコスト削減
  - ・生産効率の向上
  - ・金型、治具の改善
  - ・ENDO STAINLESS STEEL(VIETNAM)CO.,LTD.の設立  
(2008年7月稼動予定)
2. 付加価値製品(表層)への技術挑戦
3. 国内外新規取引先の販路開拓
4. 新規分野の用途開発、技術開発

# 自動車等鍛造部品事業について～業績推移～



◆ 2008年3月期 タイ自動車産業の好調により増収増益

◆ 2009年3月期見通し 増産体制確立



# 自動車等鍛造部品事業について～取組み課題～

1. 増産体制の強化により安定受注を目指す
  - ・積極的な設備投資
  - ・工場増設により生産ラインの大幅見直し
  - ・金型工場の拡充
2. 付加価値製品への技術挑戦
  - ・熱処理、機械加工への取組み
3. 生産技術力の向上
  - ・温間鍛造と熱間鍛造の組合せ
  - ・冷間鍛造への挑戦